

ボランティアガイドの会

第43号（2018年4月）

あいさい 通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

第70回 全国植樹祭あいち 2019

春にはゴールデンウィーク、大型連休があります。国民の祝日が並ぶことで休日が続く、行楽に便利な週になるわけですが、その中に「みどりの日」という祝日があります。

元々 昭和天皇の誕生日だった4月29日は、天皇誕生日とされていましたが、1989（昭和64）年に今上天皇が即位され、天皇誕生日は12月23日に改められることになり、4月29日が「みどりの日」として改め



られ、祝日として存続させることになりました。「みどりの日」は「昭和天皇が植物に造詣が深く、自然をこよなく愛されたことから『緑』にちなんだ名がふさわしい」ことに由来しますが、新緑がまぶしいこの季節に相応しい祝日です。

2007（平成19）年以降は、「みどりの日」を5月4日に移動し、4月29日が「昭和の日」となりました。

2019年春季（5、6月）には愛知県森林公園他で「第70回全国植樹祭あいち2019」が予定されています。全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催される、国土緑化運動の中心的行事です。1950（昭和25）年に山梨県甲府市で開催されて以来、毎年春季に開催されています。

愛知県では、1979（昭和54）年、西加茂郡藤岡町（現豊田市）にて、昭和天皇皇后両陛下をお迎えして第30回全国植樹祭が開催されました。

そして、今年（2018年）の全国植樹祭は福島県で開催されます。さらに、愛知県各地では、全国植樹祭1年前イベントの開催があり、愛西市でも5月19日（土）に親水公園で各種行事が予定されています。

〔クイズ：上写真は何の新芽でしょう？ 答は6頁〕

あいさい 観光 おもてなし 講座



愛西市として合併して10年以上が経ちましたが、愛西市が広域になったため、市内にある観光資源は市民にも知られていません。そこで、2月18日（於：愛西市文化会館）、3月4日、3月18日（於：愛西市中央図書館）の3日間、愛西市・愛西市教育委員会の後援をいただき、愛西市観光協会が主催し、あいさいボランティアガイドの会が中心となって「愛西おもてなし講座」を開催しました。

講師はあいさいボランティアガイドの会員他が務め、愛西市に関する文化、歴史、食文化に関する講座を実施し、3日間8件のテーマで、

それぞれの講師がそれぞれの個性を生かした講演をしました。1月から広報あいさい・『あいさい通信 42号』などで参加者を募集した結果、1日目59人、2日目54人、3日目58人、のべ171人が受講されました。

講演会として自由に参加していただきたい方針でしたが、修了証を発行しなければならないという手間もあり、受付体制に課題が残りましたが、修了証発行後の3日目にも多くの方の参加がありました。ありがとうございました。

講演後「愛西市の歴史について、とてもわかりやすく、また機会があったらぜひ参加したい」というご意見をいただき、愛西市の観光・文化の振興に寄与できたと思います。



©AKR

第4回 あいさいフェスティバル



1月28日（日）。愛西市文化会館に於いて愛西市観光協会が主催して第4回あいさいフェスティバルが開催され、西保町の伊勢大神楽（左写真）、地元で活躍する「音物語」のミニコンサートなどの公演がありました。伊勢大神楽を初めて見たという方も多く、また、「音物語」のパフォーマンスで会場は盛り上がりました。

しかし、フェスティバルの一部として開催した『愛西観光名所展』への入館者は減少し、当日実施したASK総選挙に影響がありました。原点に立ち戻って何を目的にしたフェスティバルか検討する時期に来ていると思います。

ASK 総選挙 結果

1月28日のあいさいフェスティバル以降に実施してきました 第2回（2017年度）ASK 総選挙の開票結果について、概要を報告します。

1. 実施方法

- 1)「あいさいフェスティバル(1月28日)」において、愛西市内の観光資源48ヶ所をエントリーし、解説パネルとそのほとんどの場所の写真とを展示した。
- 2)アンケート用紙を「あいさいフェスティバル」会場で配布し、写真展示を見ていただきながら投票してもらった<右写真(上)>。投票していただいた方には、謝礼として絵葉書、または、ティッシュを配布した。
- 3)補欠選挙として、愛西市中央図書館、愛西市佐織公民館などに協力をお願いし、2月1日から3月4日までの1ヶ月間、愛西市中央図書館の閲覧コーナー入口<右写真(中)>、佐織公民館の展示コーナー入口<右写真(下)>などで投票をお願いした。

補欠選挙では、案内文の掲示のみで、あいさいフェスティバルで展示した写真を使用しなかったため、結果に大きな影響があった。しかし、回答数は増えたため、アンケートの有意性は多少高められたと思う。

2. 結果と考察

1) 投票数

補欠選挙を実施したのは、あいさいフェスティバルでの投票数が少なかったため、アンケート統計の有意性を高めるためである。

各会場での投票数は、あいさいフェスティバル49票、愛西市教育委員会生涯学習課主催の講座21票、愛西市中央図書館47票、愛西市佐織公民館10票であり、合計127票を集計した。なお、結果が得票率(%表示)になっているのは、解答欄が複数記載のため、得票数を全回答者数(127人)で割った値である。



2) 高得票を得た観光資源

＜設問1＞愛西市にある観光資源について、＜下写真・左＞

あなたが行ってみたい、友人にすすめたい観光資源はどこ？

第1位：船頭平公園	39%
第2位：立田ふれあいの里	26%
第3位：森川花はす田	14%

＜設問2＞愛西市で開催される祭礼・催事について、＜下写真・右＞

あなたが行ってみたい、友人にすすめたい祭礼・催事は何？

第1位：尾張津島天王祭	38%
第2位：オビシヤ	20%
第3位：オコワ祭	13%

＜設問3＞愛西市にある花の名所について、

あなたが行ってみたい、友人にすすめたい名所はどこ？

第1位：森川花はす田	21%
第2位：花はす田	17%
第3位：船頭平公園	13%



3) 観光資源の得票偏差

①設問1で16ヶ所、設問2で11件、設問3で13ヶ所、アンケートにエントリーした43ヶ所の観光資源・催事に最低1票が入った。



また、設問1で31カ所（釜地藏寺、東海広場、イチゴ狩りなど）、設問2で5件（イチゴ狩り、管粥神事、健康フェスティバル、文化祭、農業祭）、設問3で7ヶ所（奥津神社の桜、佐屋代官所の桜、相ノ川の桜並木、愛西市中央図書館の桜、愛西市役所

の桜、木曾川堤防上からの蓮根田など）のエントリーされていない観光資源が記載された。

このことは、一般的な意見として観光が多様化していることを示していると考えられる。特に、季節柄、イチゴ狩りという回答が複数あった。

②その一方で、設問1で12%、設問2で17%、設問3で19%の票が未記入回答であり、昨年同様、愛西市にある観光資源の知名度の低さを示している。

設問が記載方式だったため、難しかったというコメントも多くあり、言い換えれば、このことも知名度の低さを示していると考えられる。その一方で、愛西市を観光という観点から見直す良い機会となったというコメントもあり、アンケートした意義はあったと思う。

珍回答として、見たい祭として津島神社で開催される開扉祭、花の名所として天王川公園の藤棚があった。いずれも投票数としては採用したが、愛西市内ではないため無効とした。

4) 結果の有意性

①当初、“ASK 総選挙”として、1月28日のあいさいフェスティバルの事業として実施した。しかし、当日の入場者数が少なく、また、設問が記載方式だったため回答数は49票だった。

このため、個人の意見が強調され一

般意見とはいえず、アンケートの有意性が低いと判断し補欠選挙を実施した。しかし、補欠選挙では、写真展示が無かったため、得票偏差への影響はあったが、アンケートの有意性は多少高められたと思う。

例えば、あいさいフェスティバルで写真展示があった「輪中の水屋群<右上写真>」は、あいさいフェスティバルでは、得票率14%で第3位だったが、全体では得票率12%で第5位となった。逆に「立田ふれあいの里」は、どちらの会場でも写真展示は無かったが、あいさいフェスティバルでは、得票率10%で第5位だったが、全体では得票率26%で第2位となった。

また、投票された年齢層を解析してみると、全世代にまたがっており、現代社会を背負っている40、50歳代の意見が聞けたことは意味深いと思う。

②回答欄が行ってみたい、友人にすすめたい場所となっているため、知らなかったから行ってみたい票か、知っていてすすめたい票かの区別は、理由欄を読まないとわからない。例えば、花の名所で「花しょうぶ（次頁写真、写真撮影：高桑洋氏）」を書かれた人の多くは、知らなかったのを見てみたいという意見がほとんどだった。アンケートの出題方法が結果の有意性を低くしたことは否めず、今後改善したい。



5) 自由意見

アンケートに記載された自由意見として、インスタグラムの活用、観光用バスの運行、船頭平閘門の鐘を鳴らすと愛が成就する婚活コースなどがあり、特に30・40歳代の方からの意見は新鮮で興味深い。



4. 結論

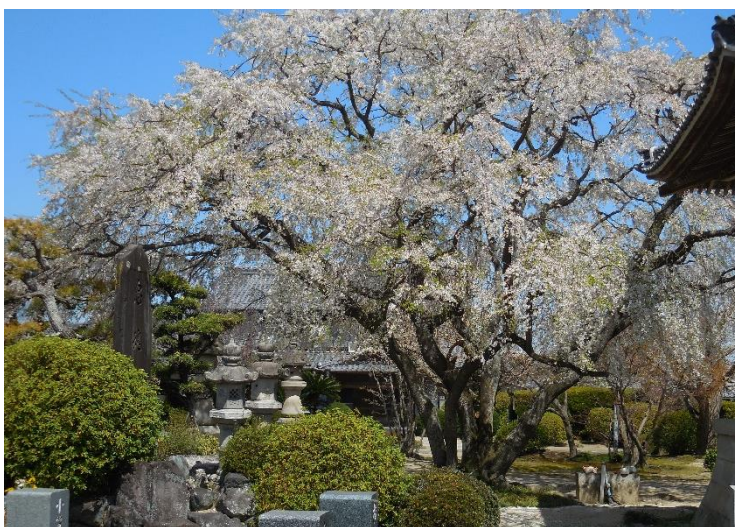
集計結果を総じて今後の愛西市の観光事業施策へのヒントとしたい。

なお、第2回ASK総選挙開票結果の報告書は、愛西市観光協会事務局、愛西市中央図書館、愛西市佐織公民館にあります。

愛西市の桜名所

ASK総選挙の開票結果において、愛西市にある花の名所は、上位2つは蓮の花の名所が独占しましたが、名所数としては桜の名所が多く選ばれました。

ASK総選挙の開票結果において、あなたが行ってみたい・友人にすすめたい桜の名所は、得票率が多い順に、船頭平公園、相ノ川桜並木、鵜戸川桜並木、親水公園でした。なお、鵜戸川沿いには、江西町（旧八開地区）と石田町（旧立田地区）に桜並木がありますが、どちらへの票かはわかりません。



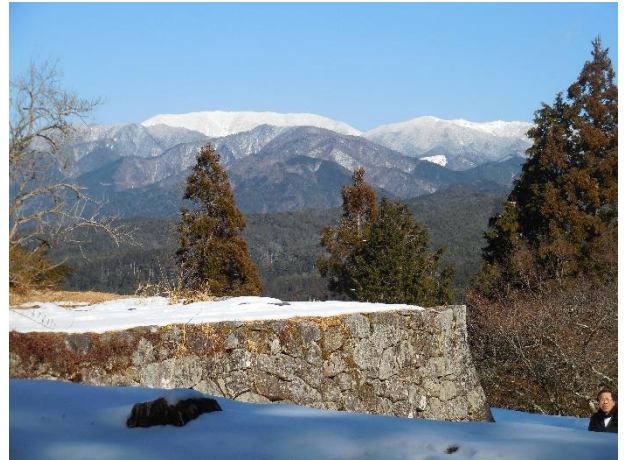
また、単票として、背割堤、奥津神社、佐屋代官所跡、専随寺の赤芽彼岸桜、了慶寺の江戸彼岸桜（上写真）、愛西市中央図書館、愛西市役所周辺、体育館北側の桜並木などがありました。一方、2017年度に愛西市観光協会が実施した写真コンテストでも桜の名所で撮影された作品は多く、例えば、善太川の桜並木、鵜戸川（江西町と石田町）の桜並木などでは、とても印象に残る写真が撮影されました。

今年も4月7日（土）には、愛西市商工会が主催する桜まつりが立田会場（船頭平公園）と八開会場（江西町の鵜戸川桜並木）で、また、千引町の相ノ川桜並木では、勝幡地区の有志による桜まつりが、3月24日（土）から4月8日（日）に開催され、週末にはライトアップも予定されますが、今年の異常天候で桜は・・・。どうなるでしょう。

〔表紙クイズの答：薔薇〕

東濃の山城

あいさいボランティアガイドの会では、2月14(水) 研修旅行(参加者 32 名)として織田信長と関わりがある恵那市岩村町へ行き、現地ボランティアガイドの案内で城下町を散策、午後は自由行動で岩村城本丸へ登城したり、城下町を巡ったりしました。岩村の町並みは4月から放映される NHK の朝の連続テレビ小説『半分、青い』の舞台になるそうで、ガイドの方から、岩村の歴史と共にドラマに収録された場所などを案内していただきました。また、季節柄、城跡には積雪があり、登城は大変でしたが、本丸跡からは間近に恵那山の大展望(上図)が得られ、岩村の地が織田信長と武田信玄が戦った国境を体感することが出来ました。



また、岩村でバスのトラブルが発生し、担当者はハラハラさせられましたが、岩村での滞在時間が増え、参加した会員は岩村住民の方々と交流を深めることが出来ました。

この時、一部の方が訪れた岩村歴史資料館で「ひがし美濃の山城スタンプラリー(3月31日まで)」が実施されていることを知り、後日、私も中津川市の苗木城跡、可児市の美濃金山城跡を見学してきました。

苗木城は、岩村城と同じ遠山氏の分家が領有する居城でしたが、一時期、美濃金山城の森氏に攻められて落城し、遠山氏は徳川家康を頼ります。その後、関ヶ原の戦い後、徳川家康に旧地を安堵されて苗木藩となり明治維新まで続きます。

訪問した日、麓に建つ苗木遠山資料館職員と雑談していて、遠山氏の“遠山”とは、尾張の国府(国府宮)付近から見た恵那山を指し、麓を領有する豪族だったことに由来すると聞き、岩村城跡から見た壮大な恵那山の姿を思い出し、木曽川下流部の尾張と上流部に位置する岩村・苗木との関係を再認識させられました。

木曽川観光船 安全祈願祭

今年も2018年3月11日(日)木曽川にある愛西市の葛木港で木曽川観光船関係者が集まり、一年間の安全祈願を行いました

観光船運航は、3月24日(土)～11月18日(日)に予定され、観光協会(電話:0567-55-9993)で受付しています。

なお、愛西市観光協会HPでは、建設環境研究所株式会社が撮影編集し、木曽三川下流地区広域観光連携協議会が制作した木曽川観光船の運航を紹介した動画を見ることが出来ます。ご利用の参考にして下さい。



～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

4月 7日(土) 愛西市商工会桜まつり
(立田会場・八開会場)

4月 29日(日) 全国うまいもん祭
於：モリコロパーク

5月 13日(日) 愛西市中央図書館主催
散策会(八開南部)
木曽三川交流レガッタ

5月 19日(土) 海部歴史研究会主催
散策会(八開北部)
第70回全国植樹祭
1年前記念イベント
於：愛西市親水公園

5月 31日(木) 愛西市観光協会 総会
あいさいボランティアガイドの会 総会 於：愛西市文化会館



V G 4月 定例会 の 予 定

集合時間：4月14日(土) 9時～ 集合場所：愛西市文化会館
内 容：2019年の事業について

八開地区 歴史散策会

今春は、主催者が異なる八開地区での散策会が2週連続で予定されています。もちろん、散策する行程も異なります。いずれの散策会でも、自然豊かな八開地区の魅力を楽しみ、味わえます。ただし、参加の申込方法が主催者により異なりますので、参加を希望される方はご留意下さい。日程など詳細は既に配布されているチラシを参照下さい。

5月13日(日) 春の八開 ぜいたく まち歩き

行程：八開地区南部(二子町⇒赤目町⇒鵜多須町⇒二子町)

参加申込：事前申込不要、当日10時に八開庁舎集合、無料

主催：愛西市中央図書館(0567-28-7760) (月休館)

5月19日(土) 歴史散策会「藤ヶ瀬を歩こう」

行程：八開地区北部(二子町⇒鵜多須町⇒藤ヶ瀬町⇒二子町)

参加申込：4月13日(金)より電話申し込み、先着30人、無料

あま市美和歴史民俗資料館(052-442-8522) (水・木休館)

主催：海部歴史研究会